



中学生が自衛隊での職場体験学習について発表



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己二等空佐）は、5月28日（月）、藤枝市立瀬戸谷中学校で行われた学年発表会に招かれ、生徒たちの発表を聞いた。

この発表会は、同校の1年生の地域歴史学習、2年生の職場体験学習、3年生の修学旅行において、生徒たちが実際に見て学んだことを生徒自ら発表するもの。発表会場には、生徒の家族や職場体験で訪問した企業等の担当者も集まった。

発表の時間は、生徒一人5分程度。短い時間ではあったものの、生徒たちは、自分たちが学んできたことを手作りのスライドにまとめ、クイズを取り入れたり、わかりやすいよう写真を利用するなど工夫し、熱心に発表していた。

自衛隊での職場体験学習に参加した2年生の女子生徒2人は、「平和と独立の堅守」というタイトルで陸・海・空それぞれの自衛隊について学習したことを写真と手書きの記事にまとめ、しっかりとした口調で会場に集まった人たちにわかりやすく発表していた。

2人は「今まで知らなかった自衛隊について、体験学習を通していろいろなことを学ぶことができた」と話し、自衛隊の活動についての体験学習が、生徒たちの満足のいくものだったことが伝わってきた。

静岡地本は、今後も学校の要望に誠実に対応し、職場体験学習を通じた広報活動を積極的に実施して、多くの生徒に自衛官の魅力を紹介し、自衛隊を正しく理解してもらえるよう努めていく。

家族が職場を見学



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己二等空佐）は、6月2日（土）、本部庁舎（静岡市）において、地本に勤務する隊員3家族10人の職場見学会を実施した。

職場見学会は、初めに会議室において定免本部長の挨拶、副本部長と課室長の自己紹介、総務課長による地本業務及び自衛隊の福利厚生等の概要説明を行い、その後、本部庁舎内を移動して事務室などの施設を見学。最後に、庁舎前広場において地本キャラクター「しずぼん」との記念撮影や、広報用オートバイ等を用いて実際の広報展示の様子を見学してもらった。

参加家族からは、「地本の施設は、自衛隊というより会社のオフィスのように感じられ、主人が『地本は部隊とは雰囲気が違うんだよ』と話していたのが実感できた」「お父さんがどんなところでお仕事をしているのかを見ることができて良かった。しずぼんがとても可愛かった」と感想が寄せられた。

静岡地本は、今後も隊員家族の職場に対する理解の向上を図るとともに、仕事と家庭を両立できる環境の整備を推進していく。